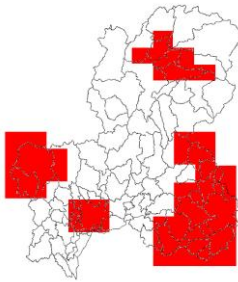


コシンジユガヤ		<i>Scleria parvula</i> Steud.	準絶滅危惧
			カヤツリグサ科
選定理由	分布域の多くは生育環境が変化しやすい不安定な場所であるため、種の存続への圧迫にさらされている。		写真(村長昭義) 
形態の特徴	1年草。叢生し、茎は高さ10-30cm、葉鞘にはつねに広い3翼がある。瘦果は球形。細かい格子紋があり、まばらに短毛がある。		
生態的特徴	日当たりのよい湿地にはえる。		
分布状況	本州から九州に分布する。岐阜県では 県南東部に分布するが県北部にも生育地がある。		
減少要因	生育地の埋め立て、改修。湿地植生の変化による乾燥化や他の植物からの被圧。湿地が富栄養化したため外来種が侵入し、生育箇所が狭められた例もある。		
保全対策	湿地の保護、保全、ため池改修時の生育環境維持活動。		
特記事項			
参考文献			

文責:村瀬正成